



The Star in the West

東京西ワイズメンズクラブ会報

THE SERVICE CLUB FOR THE YMCA

THEY'S MEN'S CLUB OF TOKYO-NISHI(03)3 20 2-03 4 2

c/o TOKYO YMCA YAMATE CENTER, 2-18-12 NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO 169-0051, JAPAN

- 国際会長主題 「より良い世界のために、共に」
- アジア会長主題 「大きなインパクトを起こそう」
- 東日本区理事主題 「ワイズの方向性を見極める」
- 「ユースエンパワーメントをYMCAと共に」
- あずさ部部長主題 「未来のために行動しよう」
- 東京西クラブ会長主題 「居心地の良いワイズライフを楽しもう」

2025年2月号

NO 581

シメオンは彼らを祝福し、母マリアに言った。「御覧なさい。この子は、
イスラエルの多くの人を倒したり立ち上がらせたりする」

ルカによる福音書 第2章34節

ピンクシャツデー

神谷幸男

渡辺大輔さんから「2月例会は、ピンクシャツデーとなりますので、皆さんピンクシャツか、ピンクの何かを身に付けていらしてくださいませよう…」と促されて、ハッと自分の迂闊さを思わされた次第。

「いじめ」とは。相手の自尊心を損なわせ弱体化される精神的に或いは身体的な苦痛やストレス、心身疲労を与えるハラスメント行為、人権侵害行為、悪意をもってすれば犯罪行為であるにも拘らず、意識的にはすこぶる疎いことに気づかされた。

自分ではいじめっ子でもないし、いじめられっ子でもないと自負しているが、静かに思い返せば、あの時何気なく投げかけた言葉が相手から「いじめられた!」とはっきり言われたことがあったし、なんとなく気まずくなった

加害者側に立ったことも少なくないし、反対に被害者側に立たされたことも心当たりなきにしもあらず。

いずれにしても傍観者にならぬよう、思いやりの気持ちを忘れずに、少なくとも2月例会にはピンクのネクタイでもして行こう。

ふと、世界でのまた日本での今年のピンクシャツデーキャンペーンについて知りたくなって、日本ピンクシャツデー公式サイトを開いてみた。各国での募集による写真集が紹介されていた。

カナダでは、行政・教育・スポーツ・企業など様々な業界や分野から賛同者がピンク色を身に付けて参加していて、動画が数本紹介されていた。日本では学校・団体・企業が参加して運動が広がっているとして、2011年から各年

毎の各地・各団体（略全都道府県）の活動の様子を紹介する画像が多数掲載されていた。

また、なぜピンクシャツデー運動をするの？ として、いじめについて知ること（いじめの定義・現状）、その影響、この運動に期待される効果についても再認識を促す記述もあった。いじめの影響については、以下に見られる経験が高まる傾向があるということです。

いじめられている子ども：

うつ病、不安、孤独感、気分が落ち込む、睡眠や食事のパターンの変化、趣味だったものから興味を失う、などの傾向がみられ、成人期まで継続する。学業成績の低下、欠席、中退。

いじめている子ども：

青年期にアルコールや薬物の

(P 4・3段目に続く)

クラブ役員

- 会長 神谷 幸男
- 副会長 本川 悦子
- 書記 村野 絢子
- 会計 篠原 文恵
- 担当主事 横山 弥利

1月の記録 (在京新年会)

在籍者数	12人	武蔵野多摩	人	ニコニコ	0円
(内功労会員)	1人	たんぽぽ	人	クラブファンド	0円
出席者数	11人	ビジター	人	ファンド残高	44,715円
メーカーキャップ	0人	ゲスト	人	ホテ校ファンド	0円
出席率	100%	出席者合計	人	ホテ校残高	26,714円

2月合同例会のご案内

強調テーマ：TOF(タイム・オブ・ファスト)

心を軽くする脳の動かし方

ストレスが認知症の一因になっているとの説があります。なぜストレスは脳に良くないのか、ストレスを減らすにはどうすればよいのだろうか、等につきまして主に脳神経科学の視点から、考えてみたいと思います。

日時：2月13日(木) 18:30~20:30

会場：東京YMCA山手センター 303号室

会費：1,200円

HAPPY BIRTHDAY

該当者なし

受付 山口、篠原、藤江
司会 宮内 友弥

食事

開会点鐘 東京武蔵野多摩会長 渡辺 大輔
開会挨拶ゲスト・ビジター紹介 渡辺 大輔
ワイズソング (音源：渡辺)
聖書朗読 山口 直樹
ゲスト・ビジター紹介 各会長または渡辺
卓話者紹介

卓話：心を軽くする脳の動かし方

山口和彦ワイズ(東京町田コスモス)

ハッピーバースデー

連絡・報告・アピールなど

各担当

ニコニコ

閉会点鐘 東京たんぽぽ会長 小原史奈子

ZOOM 参加者は19時からの参加をお勧めいたします。

—1月事務会報告—

日時：1月23日(木)

16:30~17:55

会場：阿佐谷地域区民センター

出席者：大野、神谷、河原崎、篠原、本川、村野絢、村野繁

<報告事項>

◎1月例会報告

在京ワイズ新年会に合流。出席者11人。

◎1月会計(1/23現在)報告・承認。

<協議事項>

議題1

2025-2026年度クラブ役員の件。4役を選出した。(会長：神谷幸男、副会長：本川悦子、書記：村野繁、会計：篠原文恵)

議題2

第2回あずさ部評議会において討論される部長提案の諸課題について意見交換した。

議題3

2025年在京ワイズ新年会会計剰余金処分の件。第31回アジア太平洋地域大会募金に、クラブ資金を若干補填して5万円を寄付することに決定。

議題4

次々期東日本区理事推薦の件。

特に推薦しない。

議題5

4月例会企画の件。次回に継続審議。(書記 村野絢子)

【今後のワイズ行事】

◆2月16日(日) 20:00~21:30
ZOOM

ワイズ・ナイトフォーラムⅡ

◆3月1日(土) 13:30~16:00
東陽町センター
東新部 EMC セミナー

◆3月8日(土)~9日(日) 12:00
東山荘
次期会長・部役員研修会

◆3月16日(日) 20:00~21:30
ZOOM
ワイズ・ナイトフォーラムⅢ

◆8月1日(金) 13:00~3日(日) 11:40(於：熊本)
第31回アジア太平洋地域大会

会計からのお願い

後期分の会費を例会に持参か、振込でお願い致します。

振込先

みずほ銀行方南町支店

普通口座 8027928

東京西ワイズメンズクラブ



卓話者紹介

山口 和彦(やまぐち・かずひこ)さん

東大理学部在学中(1971-75)は目黒YMCAリーダー。東大大学院理学系、医学系在学中は目黒YMCAこどもの広場、“東大病院医療と教育を考える会”にボランティアで参加。

パデュー大学(アメリカ)、国立生理学研究所(岡崎)、杏林大学、理化学研究所(和光市)に勤務後、2019年退職。現在は国立精神神経センターの客員(ボランティア)研究員。

2023年11月より東京町田コスモスワイズメンズクラブ会員。

ー1月在京新年会報告ー

今年の在京ワイズ新年会のホストは当東京西クラブであったが当クラブ単独では到底荷が過重であるところ、東京武蔵野多摩クラブと東京たんぽぽ Y サクラブの応援を得て無事開催することができた。両クラブに感謝いたします。なお、1月例会はこの新年会に合流しました。

日時：2025年1月8日(土)13:30～16:30

会場：東京 YMCA 東陽町コミュニティセンター(YMCA ホール及カフェテリア室)

第1部 開会式(礼拝と新年メッセージ)

司会・高嶋美知子

新年メッセージ：

東京 YMCA 総主事・菅谷淳様、
日本 YMCA 同盟総主事代理・
横山由里亜様

第2部 アトラクション

司会・服部節子(東京たんぽぽ Y サクラブ)

落語一席 橘ノ百圓さん・演題「中村仲蔵」

第3部 賀詞交歓会

司会・大野貞次(集合写真等は1月号に掲載済) (神谷幸男)

出席者：<メンバー>石井・大野・神谷・河原崎・篠原・高嶋・本川・村野絢子・村野繁・吉田・横山(東京西)

在京ワイズ新年会に参加して

2025年1月11日に在京ワイズ新年会が行われました。80人超えの方にお集まりいただき、とても盛況な会となりました。

1月11日は娘の誕生日でしたが、ワイズのビッグイベントのため我が家での誕生会は日延べすることにして私は東陽町へ向かいました。

2日前の9日にはお世話役の人が集まり、昼過ぎから打ち合わせを行い夜まで続けました。当日の食事、お菓子、お土産、アトラクションの落語家の舞台設定など細かく話し合い、それはそれは熱



甲府YMCAで開催されたあずさ部評議会

のこもった打ち合わせとなりました。当日の受付は、石井さんと私の最高年齢の2人で行い、間違えないように協力して乗り切ることができたのはとても良かったです。

後日、全体写真を神谷さんから見せていただき、皆さん本当に良い笑顔で素敵な新年会だったのだと改めて思いました。今年も前向きに笑顔ですごしていける気がしています。(河原崎和美)

ーあずさ部評議会報告ー

2024-2025年度第2回「ワイワイ甲府評議会」報告

日時：2025年2月8日(土)

13:00～16:00

会場：山梨 YMCA3階

大澤英二記念ホール『ベテル』

ホスト：甲府21クラブ

出席者：12クラブ50人

評議会：

第1号議案：

2025-2026年度部役員承認の件…部長：山口直樹、次期部長：大和田浩二、直前部長：P. マウントフォード、書記：宮内友也、会計：本川悦子、4事業主査・メネット連絡員について提案なし…承認・可決

第2号議案：

2026-2027年度次期部長承認の件…大和田浩二(松本クラブ)…承認・可決

第3号議案：

CS・Yサ事業助成の件…松本クラブ「第26回アジア賞留学生作文コンテスト」80,000円、富士五湖クラブ「第14回障がい者フライングディスク大会」70,000円、甲府21クラブ「第6、7回ベビー・カーコンサート in 甲府」50,000円…承認・可決

グループ討議「あずさ部の運営について」：

7グループに分かれて活発に良い討議が行われた。今後の部運営に活かされるであろう。

懇親会：

和やかに行われ交流が深められた。

春の突風

犬のメロンと昼食後の散歩に行こうと思い支度をして玄関を出た途端、突風が私たちを襲いました。3歳半のメロンは生まれて初めての経験でした。

突風に出会ったメロンは、目をメロン(果物)のように丸くし、手、足は突っ張ったまま立ち尽くしてしまいました。

風が去ってからお家にはいる? と声を掛けるとさっさと家に入っていました。

玄関から一歩の散歩でした。

(本川悦子)

日々の中から
すべては宇宙のかけら
村野絢子

津田裕子彫刻展

1月30日、2月2日横浜の馬車道のホールで、津田裕子さんの「すべては宇宙のかけら」彫刻展の全てを鑑賞した。

女子美大を卒業し、母校で教授として後輩の指導に当たり、二科展の会員でもある。学生時代から個性的でスタイリッシュなイタリア彫刻に魅かれ「都会の憂鬱」と評されていた独自の女性美を追求し続ける原点には「人間とは？」のテーマがあった。

その後2006年1つの人体に男女が入り込んだ「浸食」の作品を転機に、死生観と人間存在のはざ

まを問う上で、恩師や両親を看取り、大切な画廊主村上氏も病床にあって一層「人間とは？」を問い詰めその苦しみから逃れるため浸食のテーマから解放を求め大きく発想の転換し生まれたのが「浮遊シリーズ」(2009~2013年)であり、後に現在の「すべては宇宙のかけら」に繋がった。

彼女は語る。宇宙の成り立ちは無数の塵やかけらの分散と結合の結果がモノとなり、その過程で地球が誕生し動植物が生まれる。宇宙のかけらの命の大切さは皆同じだと思う。

彫刻には台座も設けず、前代未聞の展示形態により自由に空に浮かび自然ともたわむれるような作品作りが出来ると考えた。

彫刻が宙を舞う。誰も思いもよ

らない彫刻、津田裕子作品は安田火災賞、文部大臣賞、ローマ賞等を次々に受賞している。近くは杉並区役所新庁舎前に「お誕生日おめでとう」ブロンズと大理石の作品(1993年作)が設置されている。私の部屋の出窓でもブロンズの少女「ランちゃん」(1999年作)が上を向いてポーズしている。



YMCA Today

■国際ホテル専門学校の3学期の授業は2年生の選択科目です。その中には様々な資格取得対策講座があります。国家資格レストランサービス技能検定は11人の合格が12月に発表されました。国家資格ブライダルコーディネーター技能検定試験は1月に17人が受験し、ワインコーディネーターや日本酒の唎酒師の資格は2月の試験に向け9人が勉強中です。

1年生は全員が1月までホテル実習中。そして2月から本格的に就職活動が始まります。各社採用活動は積極的で、既に65社の学内企業説明会が決定し、3月からは採用面接もスタートする見込みです。希望就職が果たせるよう一人ひとりをしっかりサポートしていきます。

■全国のYMCAに寄せられた能登半島豪雨緊急支援募金を用いて、11月末までに全国YMCAからボランティア、スタッフ計250人が輪島市町野町での水害ボランティアに参加しました。また、12月には富山YMCAや全国複数

のワイズメンズクラブにより、町野町の仮設住宅でリフレッシュプログラム(クッキングや歌声広場など)が実施されました。なお、2月1日のソシアスフォーラムでは水害ボランティアに参加した専門学校生から活動報告を聞くほか、能登半島支援のための物産品販売も予定しています。

■「第15回フードパントリー」として、12月14日から東陽町センターと江東センターではひとり親家庭と生活にお困りの21家庭に、食材などを無料配布。多くの会員や地域の方、企業、団体からご寄付をいただきました。次回は3月中旬に実施を予定しています。

【今後の予定】

◆「YMCA ピンクシャツデー2025」

(いじめ反対運動) 2月26日

◆「国際協力一斉街頭募金」

3月22日 新宿駅周辺

◆「総主事就退任式」3月29日

会場：日本基督教団霊南坂教会

担当主事 横山弥利

(P1・3段目より続く)

乱用。公共物の破壊、交通違反や刑事上の犯罪、配偶者・子どもへの虐待。

いじめを傍観している子ども：

タバコ、アルコール、薬物の使用増加。うつ病や不安精神症など、メンタルスの問題の増加。学校を欠席、サボタージュ。

この運動に期待される効果としては、いじめ問題への意識向上、いじめの防止、この運動の基礎は思いやりと尊重で、一人一人が互いの違いを受け入れること、他者を尊重することによって温かな社会へと広がっていくことが期待される。

少し飛躍するが杉並区では仮称「杉並区いじめ防止対策推進条例」に関して区民の意見交換がなされているようである。

編集後記

今月は編集者の怠慢で発行が遅くなってしまい、早くから投稿してくださった方には特に申し訳ありませんでした。心温まる普段着の記事が多くなれば嬉しいなと思っています。投稿を有難うございました。(S.K)